

ローランドの漫画 10万部突破 『ローランド・ゼロ』第2巻 発売決定

伝説のホスト漫画『夜王』井上紀良氏が作画

株式会社宝島社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:蓮見清一)が2020年12月18日(金)に発売した書籍『ローランド・ゼロ』は10万部を突破し、第2巻となる『ローランド・ゼロ 逆襲篇』の発売が決定しました。

『ローランド・ゼロ』は、ホストの帝王と呼ばれるまでになったROLAND (ローランド)の学生時代の挫折や、ホスト業界を志して経験した下積み時代を描いた成長物語です。少年篇・挑戦篇・覚醒篇の3章構成で、各章の最後にはROLAND本人が当時を振り返り、テキストで解説をしています。歌舞伎町ナンバーワンという成功の裏には、どんなに酷な状況でもブレない強い自分を持ち、必死に這い上がってきたROLANDの姿があり、彼の哲学や生き方を学ぶことができます。

作画は、ROLANDが小学生のときに出会い、ホストという仕事を選ぶきっかけとなったホスト漫画の金字塔『夜王』の井上紀良氏です。『夜王』の登場人物の一人である「聖也」はROLANDが唯一インスパイアされたというホストで、今回の『ローランド・ゼロ』にも、そんな出会いをイメージしたシーンが出てきます。少年時代ROLANDも憧れる伝説のホスト——10年越しに実現したというROLAND念願のコラボは必見です。

手に取ってくれた10万人の凡人の皆さん、ありがとう。
2巻も楽しみにしてね!

凡人代表・ROLAND



初版限定! プレゼントキャンペーン

第1回
切迫る!

本書の帯に付いてくる応募券を切り取って応募すると本書オリジナル「ROLAND名刺」が抽選で合計210名様に当たります。

【賞品】

- A賞 : 純金「ROLAND名刺」…10名
- B賞 : プラチナ箔「ROLAND名刺」…50名
- C賞 : 金箔「ROLAND名刺」…50名
- D賞 : 超豪華ホログラム「ROLAND名刺」…100名

【応募締め切り】

第1回: 2021年1月31日 / 第2回: 2021年3月31日

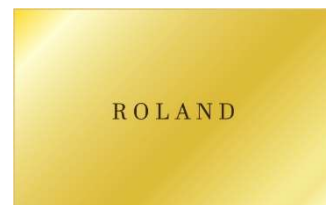
第3回: 2021年6月30日

※詳しい応募方法はこちらから

<https://tkj.jp/book/?cd=TD010216&path=&s1=>

ROLANDのリアル名刺を模したデザインです。文字部分は4種とも(表裏とも)同一です。

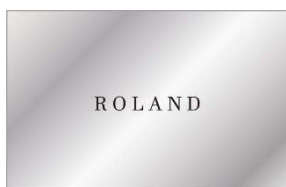
※画像はイメージです。実物とは多少異なりますのでご了承ください。



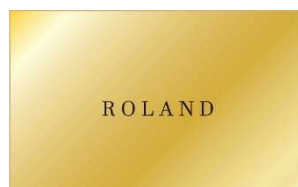
純金(表)



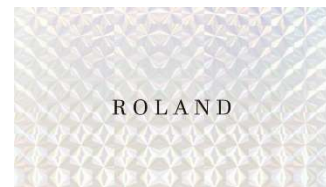
純金(裏)



プラチナ箔



金箔



超豪華ホログラム

『ローランド・ゼロ』
ROLAND (監修)、井上紀良 (漫画)
発売日: 2020年12月18日
定価: 本体900円+税



もちろん止められた。オレがホストになるって言ったら100人中100人が止めてきた



でもそれに従っても誰も責任は取らない！信じられるのも責任を取れるのも自分だけだから

全然！だってオレは多数決が正しいなんて思わない相談してないのに我が物顔で意見を言う

それでも決意は揺るぎませんでしたか？



オレは歌舞伎で、ここが責任の重なる場所をやる。伝説のナンバー1になる



それはわかっているよ。それでも...

歌舞伎町がオレを呼んでいる気がするんだ



お兄さん、ここは有象無象の異世界だから気を付けてね

でも、夢を断られる町だから、嫌いなならぬで、ほしいんだ。どっかへ。どうも。こんな世界で生きてるの？

素敵な勘違いがローランドを生んだ

● 挫折がなければハングリーな気持ちが生まれなかった

「ちょっと素敵な勘違い」でホストになり、ナンバーワンを達成して、今じゃ実業家として彼女のビジネスまでこなしている。ホストを引退してからの現在の彼を見て、本当に色気やっている人か多い。大変じゃないですかと聞かれることが多い。これだけ酸いも甘いも経験してきた僕にとつての勘違い、やっぱり永遠の厨二病だと思っ

それともはや、一つの才能なんですか。「ウルトラマンになりたい」なんて子供の素敵な勘違いも、やがて成長すると、自分にはウルトラマンにはなれない現実を知ってしまふ。でも、大人になつてもまだ「俺、ウルトラマンになれるんじゃないのかな」って勘違いを続けられるって、素敵なことじゃない？ 自分を信じて、勘違いを持ち続けていられる強さや幸せを感じてもらえたら嬉しいな。

僕はサッカー選手としての1回目の挫折が悔しくて、それでホストになった。サッカーを続けた同期と一緒にプレイしたことがある友人がテレビに出て、その姿を見て、「いつか目の目を浴びて、どうして自分じゃないんだ」と、自身を好きになれなくて苦しんだ。多かれ少なかれ、そういう勘違いやモチベーションを抱えている人は多いんじゃないかな？

でも、野望とか憧れでホストになったんじゃない。反骨心や悔しさ、怒り、「いつか見返してやる」、「いつかよりすげえ男になりたい」というハングリーな気持ち。そんな気持ちがあったから、さっさと歌舞伎町から逃げたと思う。だから成長しようと努力を続けることができた。最初からホストになつていたら、僕はここまでにはなれなかったと思う。

繰り返すようですが、そんな原動力があったからローランドはここにいるんです。

contents

- 1章 少年篇
- 17歳のローランドへ
- 2章 挑戦篇
- 20歳のとき
- ローランドはどのくらい？
- 3章 覚醒篇
- 素敵な勘違いがローランドを生んだ